

令和元年度 第2回多職種連携のための意見交換会

日時：令和2年3月12日(木)

場所：つくば市役所コミュニティ棟会議室1, 2, 3

当日の内容

●映画上映 「ケアニン ～あなたでよかった～」

●全体意見

参加者

医師：1名
介護職：1名
管理栄養士：1名
保健師：1名

医療事務：1名
訪問介護職：1名
柔道整復師：1名
社会福祉士：2名

薬剤師：10名
鍼灸按摩マッサージ師：1名
事務職：4名

合計：24名

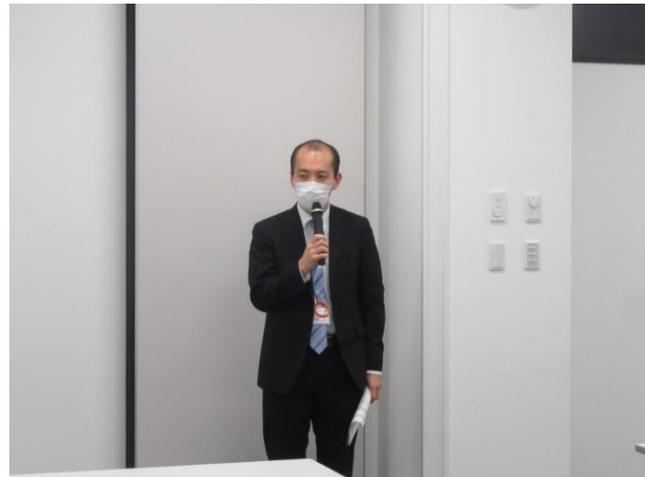
意見交換会の目的

つくば市の医療と介護の専門職が、つくば市の在宅医療介護連携の推進、そして地域包括ケアシステムの構築に向けて、多職種が情報・課題の共有を行いながら顔の見える関係を共に築き、必要な具体的な取組について主体的に協議・検討を行います。

テーマ

**市民の方が自分らしく安心して在宅生活を送ることができるために
—あなたが『ケアニン』として心がけたいことは？—**

今回の意見交換会では前半に映画「ケアニン～あなたでよかった～」を上映し、後半に映画の内容を受け、それぞれ自分が「ケアニン」としての在りたい姿をグループワークで共有していただく予定でございました。しかし、今回はコロナウイルスの流行により、感染予防の観点からグループワークでの意見交換は中止とし、全体での感想の共有の時間とさせていただきます。大変な時頃、お越しいただいた皆様には感謝申し上げます。



<意見交換会の流れ>

- ▶18：25～18：30 開会のあいさつ
- ▶18：30～20：15 映画上映
- ▶20：15～20：20 全体意見
- ▶20：20～20：25 閉会・事務連絡

映画上映

「ケアニン ～あなたでよかった～」

映画は、小規模介護施設を舞台に新人の介護福祉士が、認知症の高齢者、その家族と向き合っていく様子を描いています。映画のタイトルでもある『ケアニン』とは「介護、看護、医療、リハビリなど人のケアに関わり、自らの仕事に誇りと愛情、情熱をもって働いているすべての人（*）」のこと。

（*公式サイトより）

「その人らしく最期まで生きる」ために、そこに寄り添う医療・介護専門職である私たちには何ができるのか。介護現場に関わらず、それぞれのフィールドに立ち返って考えることができました。



全体意見

全体意見では、数名の方にご感想、ご意見を発表していただきました。「他の職種の人はどう感じたか知りたかった」、「グループワークができないのが非常に残念でもったいなかった」等のお声をいただきました。

アンケートからも、参加された皆さまが、それぞれの職種として、また家族の視点として、感じていただけたことがたくさんあるようでした。

(詳細は別紙アンケート集計結果をご覧ください。)

今回はとても残念でしたが、次回以降、また多職種の皆さま同士での活発な意見交換のお時間を準備していきたいと思えます！！

